

平成30年度 学校運営等に関する評価書

| | |
|-----|-------------|
| 学校名 | 和歌山市立四箇郷小学校 |
| 作成日 | 平成31年2月22日 |

1 教育目標

社会を生き抜く力を備えた子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

| | 開かれた学校 | ゆたかな心 | 確かな学力 | 安全の確保 |
|--|---|---|--|--|
| 指標 | 学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」⇒『思う方』の回答75%以上 | 図書室への総来室者数⇒前年度を維持 | 2018年実施の全国学力・学習状況調査の結果⇒和歌山県の平均に近付ける | 学校評価アンケート項目「学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている」⇒『思う方』の回答85%以上 |
| 意 見 す 標 重 見 る に 点 対 目 | ・重点目標は適切である。 | ・重点目標はこれでよい。 | ・重点目標に問題はない。 | ・この重点目標は大切である。 |
| 意 取 見 組 状 況 に 対 す る | ・HPへの写真掲載に関する保護者の承諾はとっているのか。 ⇒保護者に紙媒体にて確認している。 ・学校だよりやHPによる発信はありがたい。 ・HPは、地域の者でも学校の様子がわかる。 ・今後も学校からの発信を継続してほしい。 | ・図書室は常時開放しているのか。また、その管理はどうなっているのか。 ⇒常時開放としている。管理については、改善の余地がある。 ・図書ボランティア活動の状況は。 ⇒おかげさまで図書室の環境は大変よい。 ・保護者アンケートのいじめに関することで、「わからない」が20%近くもある。 ⇒学校は、保護者が実感できるような取り組みを進めていかなければならない。 | ・授業参観や子供の宿題を見ると、実感ができる。 ・中学年の算数の授業で、児童主体で進めており、しかも根拠や理由を発表していた。 ・自主学習ノートに取り組んでいる。 ・理科の宿題でテスト勉強があり、熱心に見てくれている。 ・児童の机の配置が工夫されている学級も多い。 | ・台風が来たときや運動会が延期になった際の学校からの連絡はよかった。 ・メールシステムの保護者の登録率と、保護者の意識の高さは同じである。 |
| 取 組 意 見 結 果 適 切 に 対 す る | ・学校より地域の方に、具体的にお願いをしていく必要がある。 | ・情報セキュリティーについて、児童や保護者に啓発していく必要がある。 ・地域の行事にPTAが協力している。 | ・漢字の学習で低学年では丁寧な指導してくれている。高学年でもきちんと見られている学級もある。 | ・今後も維持継続していただきたい。 |
| 改 善 方 法 に 向 け て の 意 見 | ・校長が、老人会の代表者や民生委員・児童委員の方に、具体的に依頼をしたり情報を提供したりしていく。 ・見守り隊とPTAがさらに協力できればよい。 | ・本委員会に、図書ボランティアの方より1名入ってもらおう。 ・体験活動について、今後もPTAと学校が協力して進めていく。 | ・宿題について、学年・担任裁量の部分と学校としての方針の部分とのバランスが必要である。 | ・児童の安全確保は、一番重要なことであるので、常に意識してほしい。 |

3 その他のご意見

・遅くまで職員室や教室の明かりがついていることがある。熱心な先生がいることはありがたいが、心身の健康面も考えてほしい。